

BISHOP'S OFFICE
4-42 NOBORI-CHO
NAKA-KU HIROSHIMA
〒730-0016 JAPAN
PROT.N.

DIOCESE OF HIROSHIMA



ALEXIS MITSURU SHIRAHAMA
DEI ET APOSTOLICAE SEDIS GRATIA EPISCOPUS HIROSHIMAENSIS

2026 年 2 月 13 日 (金)

広島教区のすべての小教区の主任司祭と兄弟姉妹の皆さん

長生炭鉱水没事故の犠牲者の遺骨収集のための献金への感謝

+ 主の平和

今年は、来週の水曜日（2 月 18 日）が「灰の水曜日」にあたり、いよいよ四旬節が始まります。主の復活の祭日（今年は 4 月 5 日）に向けて、とくに祈り、愛、犠牲を通して、キリストに結ばれた新しい人として生きる恵みを祈りながら、その準備を進めていきたいと思います。

昨年 12 月 28 日（聖家族の祝日・通常聖年の閉幕）のミサの献金を、山口県宇部市の長生炭鉱水没事故（1942 年 2 月 3 日）の犠牲者の遺骨収集のために、教区全体として寄付する申し合わせをして、1 月末までに、すべての小教区（巡回教会を含む）から教区本部に送金していただきました。合計で 905,511 円となり、2 月 7 日に「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」へ、教区本部事務局から送金させていただきました。地元の教区として、「ともに歩むあたたかさのある教会」をめざす、一つの実践となりました。ご協力くださった広島教区のすべての兄弟姉妹の皆さんに、心より御礼申し上げます。

また、「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」による潜水調査に参加していて、2 月 7 日に亡くなられた台湾のダイバー、ウェイ・スーさん（57 歳）のために、教区民としてともに、そのご冥福を祈り、ご遺族の方々にも悼意を表したいと思います。

なお、2 月 6 日に見つかった水没事故犠牲者のものとみられる遺骨に関連して、10 日の閣議後の会見で、上野賢一郎厚生労働相は、「韓国政府とも意思疎通を図りながら、関係省庁で適切に対応されるものだと承知している」と、コメントしました。地元の教区としても、日本政府による支援が今後、本格的に開始されていくことを願いたいと思います。



広島教区 司教 アレキシオ 白浜 満

+ Alexis Mitsuru Shirahama